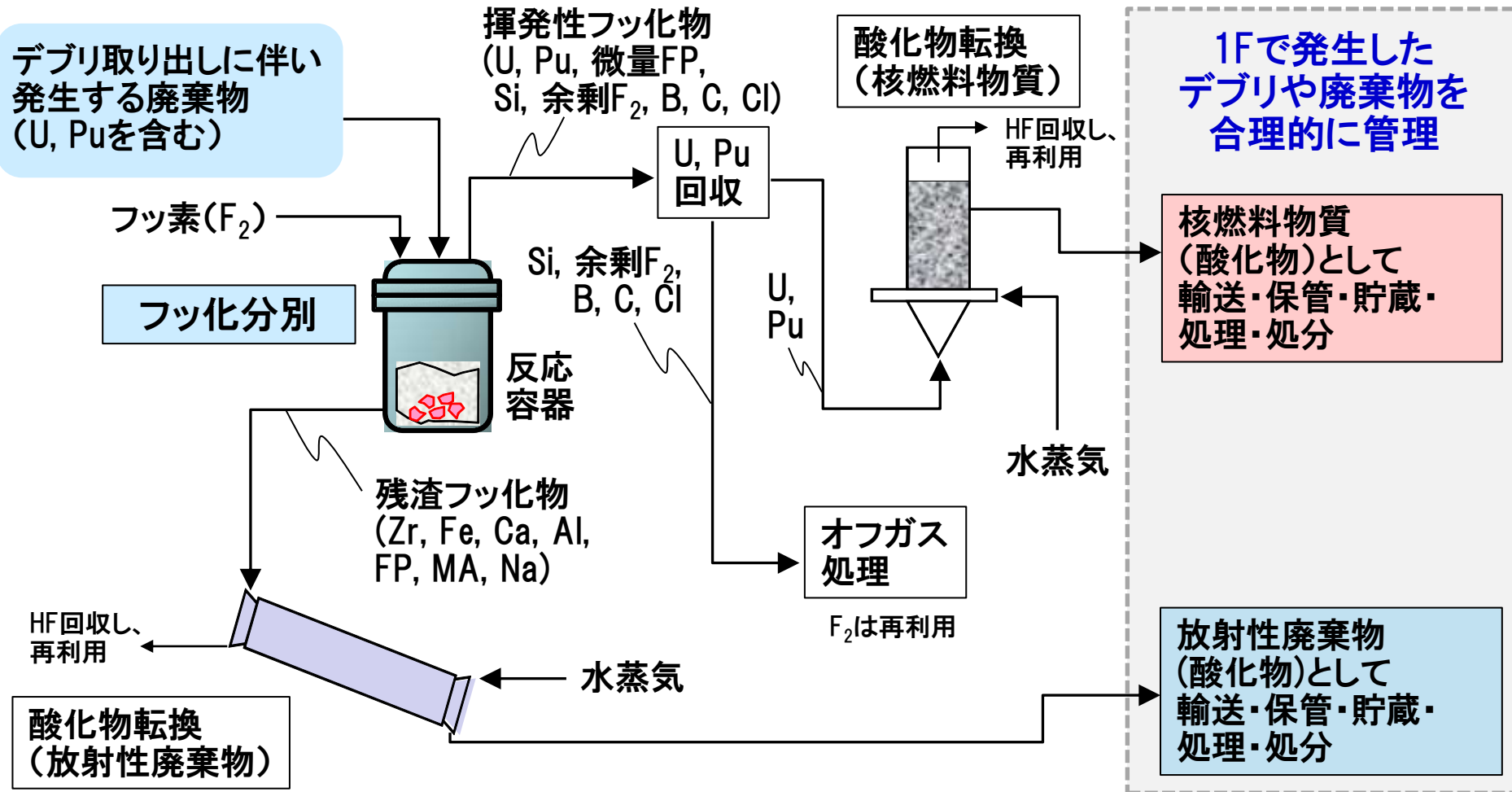


フッ化法による分別プロセスの概要

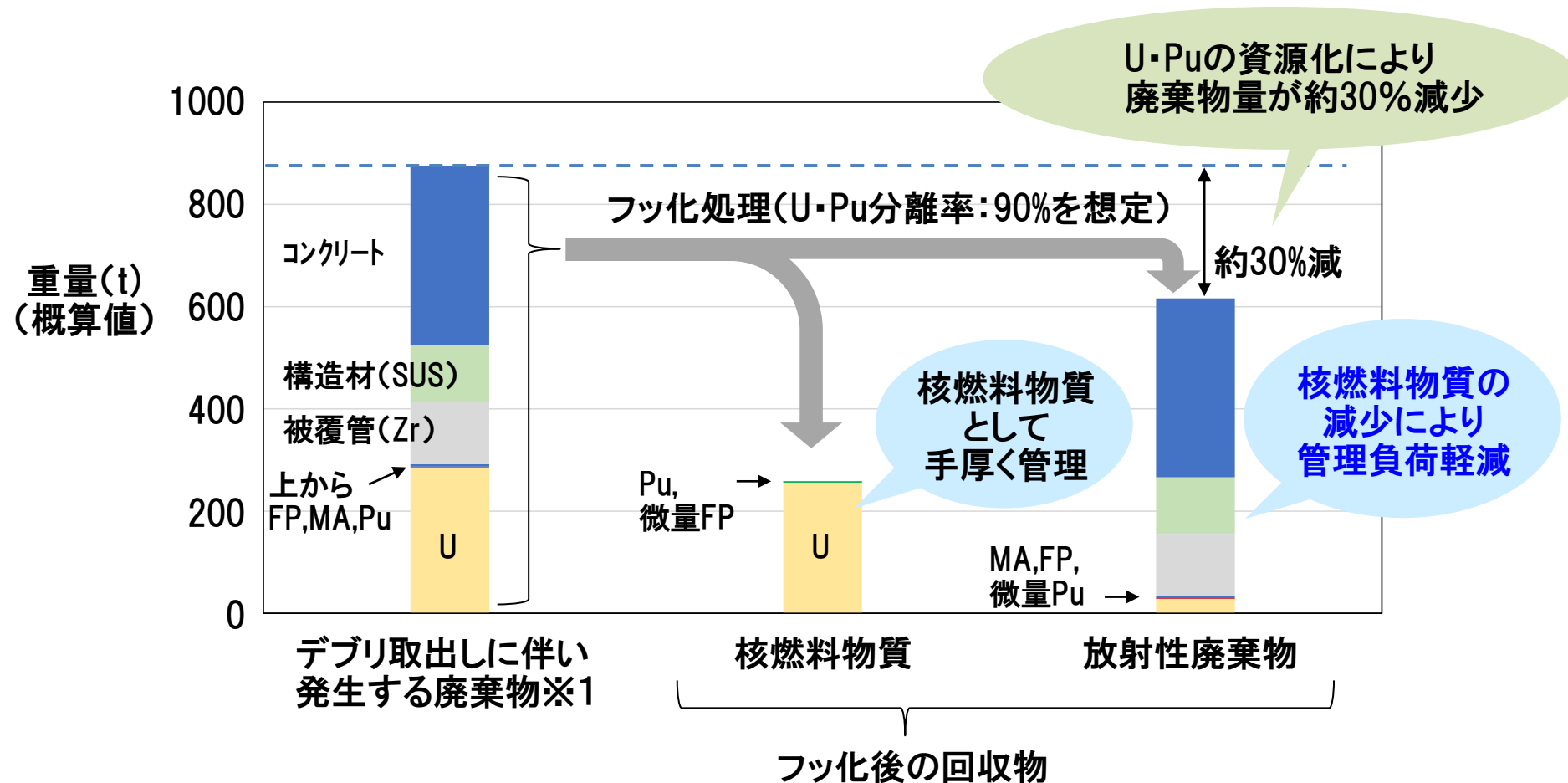
HITACHI



- 廃棄物をフッ素ガスと反応させ、核燃料物質を揮発させて選択的に回収。
- 回収物は安定かつ長期保管・処理・処分に適合させやすい酸化物に転換。



- 核燃料物質とその他の放射性廃棄物とに分別して、合理的に管理。
- 核燃料物質の資源化により最終的に廃棄物となる物量を約30%低減。



※1: T. Washiya, et.al., Proceeding of ICONE-23(2015)を基に1F廃棄物量(核燃料物質、被覆管、構造材、コンクリート)を概算。